



第17回牛乳紙パックで
『遊ぶ学ぶ』
コンクール2017

“気付き”の記録

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」は、牛乳をはじめとする各種飲料用紙パックを素材とした工作の機会を提供することで、より多くの子どもたちに造形活動に楽しく取り組んでもらいたいと思っています。また、工作を通じて環境への思いやりを育みたいと、紙の循環や森林資源、地域や地球にやさしい行動など、気付いたこと、思ったことを感想文に書いてもらっています。この記録は、2017年の佳作以上に入賞した30名の子ども達の感想文集です。



編集・発行
協 賛

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」実行委員会
全国牛乳容器環境協議会、一般社団法人日本乳業協会

最優秀賞

『私の町の岐阜提灯』

長村 磨侑さん 岐阜県岐阜市立岐阜小学校 6年

私の住む町・岐阜と、牛乳パックの良いところと一緒に伝えられるといいなと思い、岐阜の伝統工芸である岐阜提灯を作ることにしました。ヒゴの代わりも、胴の紙も、飾りの絵も、すべて牛乳パックから作りしました。ちよど妹が、地元の岐阜提灯の会社を見学して、提灯の作り方の工程を書いた紙をもらってきていたので、お母さんにも手伝ってもらって型を作り、手をボンドでべたべたにしながらか和紙をはりました。絵柄は、岐阜のシンボルの金華山、岐阜城、信長、鶺鴒にしました。夏休みいっぱいかけて完成しました。この作品は、牛乳パックはゴミではなく、可能性がある資源だという私からのメッセージです。



優秀賞

『牛乳パックのハリネズミ』

稲垣 優衣さん 埼玉県さいたま市立浦和別所小学校 3年

ハリネズミのはりが、カラフルになるようにはりつけました。むずかしかったのは、足をバランスよくつけることです。いつもは部屋にかざっていますが、たまに首を動かしたりして遊んでいます。飲み終わった牛乳パックをこれからもリサイクルします。



優秀賞

『牛乳パックシューズ』

松澤 匡さん 埼玉県川越市立霞ヶ関東小学校 4年

去年サッカーボールを作ったので、今年はシューズを作ってみようと思いました。でも、作り方がわかりませんでした。自分のサッカーシューズをよく観察して、パーツごとにかた紙を作りました。また、丈夫に作らないとこわれてしまうと思い、編んで作ることを思いつきました。細長く切るのは大変でしたが、編むのは楽しくて夢中で編んでいきました。でも、これをくつの形にしていくのがとにかくむずかしくて、何度も失敗し、くつを作りたいと思ったことを半分後悔していました。母のアドバイスで、やっと完成にこぎつけました！自分の思ったような形にはならなかったけれど、はいたときは喜びと感動でいっぱいでした。まるでくつよく人になった気分でした。



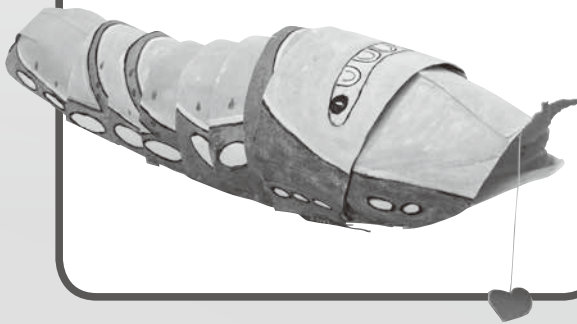
全国小中学校環境教育研究会賞

『アゲハチョウのよう虫 あおちゃん』

久保田 冴月さん 埼玉県熊谷市立桜木
小学校 4年

夏休みに、庭にいたアゲハチョウのよう虫を育てました。青虫なので名前はおおちゃんです。緑の牛乳パックを横にすると、おおちゃんににてたので、おおちゃんを作ろうと思いました。紙パックには絵の具がつきにくかったので、内と外のフィルムをはがしました。でも、ふにゃふにゃして形にならなかったで、かた方だけはがして、形を作りました。おおちゃんをよく観察すると背中にオレンジ色の点があり、図かんで調べると息をするところだとわかりました。怒ると出す角も作りました。

スーパーに紙パックを持っていくのが私の仕事です。チョウになったおおちゃんが飛び回れるかんきょうになるように、リサイクルをがんばりたいです。



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会賞

『牛乳パックの コイン選別機』

森川 陽斗さん 広島県広島市立大州小学校
5年

スロープの上からコインを転がすと、コインの大きさに合わせた穴のところで落ちて、下に置いたボックスに入るようにしようと思いました。始めに、1円から500円まで、大きさを測りました。値段の順に大きくなっていくと思っていたら、1円、50円、5円、100円、10円、500円の順だったので、実際に測って見ないとわからないものだと思いました。他のコインの穴に入らないように調整するのに苦労しました。何度もお金を通して、全部うまく入った時はうれしかったです。100%成功しないのが少し残念なところです。リサイクルは、しっかり分けて、なるべくゴミは出さないように気をつけていきたいと思いました。



全国牛乳容器環境協議会賞

『牛乳パックあじさい』

伊達 ころさん 広島県広島市立矢野小学校
3年

牛乳パックのフィルムをはがして、小さく切って色を染め、窓ガラスにはりつけてかわかしました。はがれにくくて、まどのそうじも大へんでした。花のかたちに張り合わせるのも大変でした。でも、ぜったいに作る、と思って、やりとげました。平和をねがって、花びらを1枚ハートにしています。よつ葉のクローバーも1つ隠れています。さがしてね!

母は、広しまのげんぱくドームに送られて来たおりづるをリサイクルしていて、センスやおり紙にかわっています。わたしも、夏休みにてつたいです。



日本乳業協会賞

『なつのおでかけグッズ』

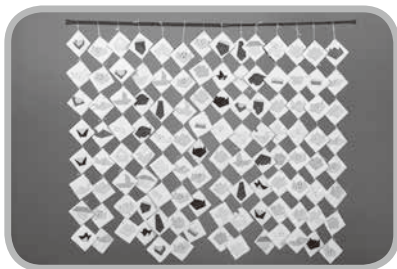
真崎 李奈子さん 北海道千歳市立末広小学校
1年

わたしのいえでは、ぎゅうにゅうパックをつかって、えんぴつたてやふみだいをつくったり、おかしづくりにつかたりしています。ぼうしもバッグもくつも、ぎゅうにゅうパックをきつたり、あんだり、とめたり、とてもむずかしくてじかんがかかったけれど、おかさんにおしえてもらいながら、ほんとうにつかえそうな、かわいい「なつのおでかけグッズ」ができて、うれしいです。また、いろいろなこうさくをしてみたいです。



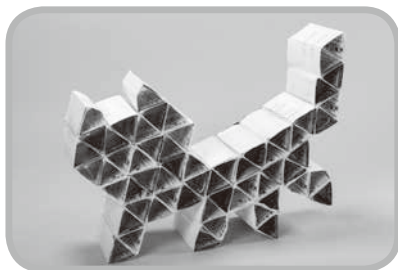
『きんぎょすくい』

那須 彩音さん 広島県広島市中筋小学校 1年
かみのパックをおるのがむずかしかったです。きんぎょにみえるように、しっぽとひれにきりこみをいれました。すててしまうパックがあそべるおもちゃになってうれしかったです。



『カラフルのれん』

勝 七海さん 岐阜県垂井町立垂井小学校 1年
ぎゅうにゅうパックのそこをつかってつくりました。おかあさんにつくりたいといったら、いっぱいだしてきてくれました。こんぱすであなをあけて、たこいとをとおして、おりがみでいろんなものをつくってました。すごくおもしろかったです。



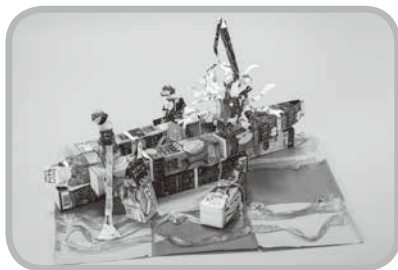
『ねこいすをつくりました』

大西 深智さん 岐阜県岐阜市立長良東小学校 1年
ぎゅうにゅうパックをさんかくにおって、ねこのかたちにくみだてました。たたせるのがむずかしかったけど、じょうずにできてうれしかったです。またつくりたいです。



『ぼくがなつにのったフェリー』

牛尾 理志さん 大阪府大阪狭山市立南第一小学校 1年
牛乳パックをカッターで切るところがむずかしかった。一人でがんばって作りました。お風呂に入れて遊びました。



『ぎふのうかい』

野村 嶺煌さん 岐阜県神戸町立南平野小学校 2年
七月にしんせきみんなでうかいに行きました。うしろうさんがうをあやつて、うがあゆをとるのがすごかったです。こうさくが大すきなので、ぎゅうにゅうパックでつくってみたくなりました。パックの青色は水、赤色は、たいまつと、たいまつの光にでらされているところ、オレンジ色は、こしみのとふねの木、むらさき色は、うとたいまつのぼうにつかいました。ぎふのうかいは千三百年もつづいているそうです。ぼくのリサイクルもずっとずっとつづけていきたいです。



『エコミルクせんぷうき』

中島 歩武さん 東京都国立市立国立第五小学校 2年
ちきゅうにやさしい手回しせんぷうきをつくりました。プロペラがどうやったら回るのか考えてつくるのが大へんでしたが、できてうれしかったです。これからも、エコなさくひんをたくさんつくりたいです。

『せかいに一つだけのベレーぼう』

長村 あゆさん 岐阜県岐阜市立岐阜小学校2年
はじめて、牛にゆうパックでさくひんをつくりました。一センチはばに切って、わっかをつくり、クリップでとめて、かわいたらつぎのわっかをつなぐのくりかえしで、とても時間がかかりました。おかあさんと、牛にゆうパックについて学びました。木を守るためにリサイクルがひつようだということがわかりました。



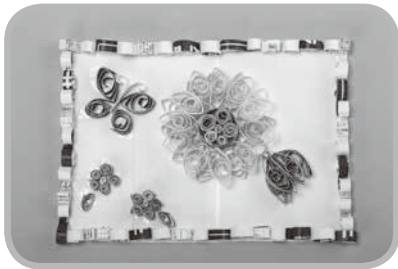
『パクンへんしんのたび』

日野 琴美さん 岐阜県高山市立江名子小学校2年
ぎゅうにゆうパックがどのようにしてリサイクルされて、トイレトペーパーなどにかわるのかインターネットでしらべてみたら、とてもべんきょうになったので、紙しばいにしました。



『たたいて、かぶって、ジャンケンポン』

山本 帆夏さん 愛知県名古屋市立笹島小学校2年
牛にゆうパックはがんじょうだから、がんじょうなヘルメットを作ることになりました。本もののヘルメットを見て、あたまとの間に空間を作りました。小さい筒をたくさん作ってつけるのがむずかしかったけれど、あたまにピッタリになるよう工夫しました。「たたいて、かぶって、ジャンケンポン」のゲームがすごく楽しかったです。



『お花のかべかざり』

村井 真綾さん 茨城県土浦市立荒川沖小学校2年
家にあったペーパーキリングの本を見て、ぎゅうにゆうパックでつくってみようと思いました。紙をはがしたり、色をぬったり、まっすぐきるのがむずかしかったけれど、たのしかったです。



『牛乳パックキングコブラ』

幸田 悠生さん 京都府京都市立御所南小学校3年
りょ行先でキングコブラがいかくしているすがたをはじめて見て、とてもいんしょうにのこり、そのすがたを表現したいと思いました。体を丸くすることができるように、かたがちがうたくさんのわを作って、つなげました。いかくするすがたをこていする台もむずかしかったです。かざりあるしげんを大切に、ゴミをへらし、リサイクルにせっきょくてきに取り組んでいきたいです。



『野鳥のすばこ』

山本 幸奈さん 三重県桑名市立多度青葉小学校3年
庭にたくさんの野鳥があそびに来ます。母に「かいたい」と言ったら、「野鳥はかえないんだよ。きまりなの」と言われ、がっかりしていたら「すばこを作って木にかけるといいかも」と言われたので、「よし、自分で作ってみよう」と思い、出入り口のあなの大きさ、屋根のかたむきなどにくふうし、風であかないようにカギをつけ、とまり木もつけました。野鳥がくるのがまちどおしいです。



『わたしのかわいいブーツ』

内田 京伽さん 埼玉県白岡市立南小学校 3年

牛にゅうパックは水にぬれてもじょうぶなので、そのとくちょうをいかしたいと思いました。足を入れたら、ぴったりだったので、ブーツをつくることにしました。外ではいたら気持ちよかったです。

『牛乳パックの菊』

下村 珊瑚さん 静岡県吉田町立住吉小学校 3年

とび出すポストカードを作りました。細かく切るのも、組み立てるのも、ひもを通すのも大変でした。ぶつだんに花がない時に使いました。



『仙台七夕祭り』

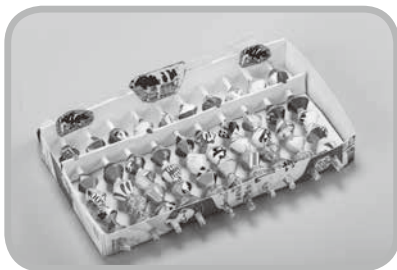
高橋 快翔さん 宮城県富谷市立あけの平小学校 4年

紙パックは雨にぬれてもやぶれないので、仙台七夕を作りました。かたくてハサミでうまく切れなくて、むずかしかったです。紙パックは再利用できるのでいいなと思いました。これからは、再利用できるかどうか考えてからするようになります。

『けんぱんがはねかえるピアノ』

日野 杏美さん 岐阜県高山市立江名子小学校 4年

けんぱんを箱のようにして、牛にゅうパックのじょうぶさをりょうして作ったバネを中につけて、はねかえるように工夫しました。



『私の New(乳)そろばん』

田尻 絢楓さん 兵庫県加古川市立加古川小学校 4年

そろばんの授業があった時、お父さんのそろばんを持っていきました。ていねいに使われていてきれいでしたが、「私のそろばん」がほしいと思いました。牛乳パック工作のテーマが決まりました！でも、玉をどうやって作るか悩みました。いろいろな形に切っては試し・・・やっと玉らしくなった時はすごくうれしかったです。大切に使おうと思いました。

『MPRT(ミルクパックローズティアラ)』

久保 結彩さん 福岡県小郡市立三国小学校 5年

牛乳パックを切って、うら側に折り曲げると、ふわっとふくらむ持ちょうを利用して、ティアラを作りました。フィルムをはがして、切ったり、折ったり、くっつけたり、失敗もしたり、一部分の色だけを切り抜いたり全部で60箱くらい使いました。妹をお姫様のように着かざらせ、最後にこのティアラを頭にのせて、遊びました。



『バラの花のコサージュ』

岩崎 天音さん 東京都練馬区立豊浜小学校 5年

私の家では牛乳をたくさん飲むので、小さい頃には牛乳パックで作った踏み台があったり、最近は自分も手すきはがきを作ったり、リサイクルが身近にありました。にじみ絵にして、コサージュにしたら綺麗だと思いつきました。花びらを切るのや、カールさせるのに、時間がかかりました。出来上がりはとてもきれいで、うれしくなりました。今までゴミと思っていたものが実は再利用できるのでは?と、捨てるように考えるようになりました。



『カエル』

東原 寛人さん 大阪府吹田市立古江台小学校 5年

4年の社会科見学でゴミ焼却場に行き、その時は、「エコするぞ!」とみんなで言っていました。時間がたつとやらなくなっていました。ぼくもそうなりかけていたので、牛乳パックで何か作ろうと思い、林間学校でモリアオガエルを見て、自然とふれあったのを思い出し、カエルを作ろうと思いました。このカエルは自然の大切さとエコを思い出させてくれます。

『平和を願う牛乳パックの折りづる』

高浦 七帆さん 広島県庄原市立東城小学校 5年

一学期の終わりに学校で千羽づるを折りました。牛乳パックでもおれるかなと思い、挑戦しました。牛乳パックはかたいので、しごいたり、ペンチで押さえたり、すごく時間がかかりました。つるをならべた台は地球に見立てました。世界中が平和になるのはすぐにはむずかしいかもしれませんが、牛乳パックでつるを作るように、ゆっくりでもコツコツがんばれば、必ず平和な世界ができあがるはずです。



『変形式牛乳パックロボット』

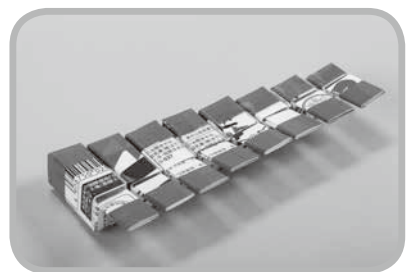
田村 優翔さん 宮城県仙台市立錦ヶ丘小学校 6年

できるだけごみを出さないように、一つの牛乳パックに切り込みを入れて組み立てるとロボットの形になるように考えました。ぼくの家では、牛乳パックはきれいに乾かして、廃品回収に出しています。どうしてそうするのかお母さんに聞くと「地球に優しいでしょう」と教えられました。僕は環境問題を考えていなかったのが、調べました。ゴミを焼却すると有害物質のダイオキシンが発生し、埋めると土壌汚染になること、さらに、日本のゴミ焼却炉数も、ダイオキシン排出量も世界一だと分かりました。ぼくは、一人ひとりがゴミを減らす努力が必要だと思います。

『牛乳パックホイッスル』

堅岡 凌生さん 宮城県登米市立加賀野小学校 6年

以前児童館でホイッスルの作り方を教えてもらいました。これを僕なりにアレンジして、音階が出るようにしました。うまく音が鳴った時はとても感動しました。回収に出すのもいいことですが、ホイッスル(工作)はとても楽しいリサイクルだと思います。友達にも作り方を教えて、みんなで演奏してみたいです。沢山の仲間ができて、心が一つにつながったらすばらしいな、と思いました。





発行／2018年5月

「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」実行委員会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-5-801 Tel. 03-5804-6573

*この冊子に掲載の作文ならびに工作の無断転載を禁じます。